

企画代表者：森めぐみ

身体から発露する音楽

ワークショップと対話型鑑賞、ディスカッションを通して

ワークショップと作品鑑賞、ディスカッションの一連の企画の中で、現代社会を生きる多様なアイデンティティを持つ他者と空間を共にし、その身体の内面から発露する音楽や律動に触れる経験を通し、新たな芸術的経験の在り方を模索・創造する場を構築する。

自分とは異なる他者に対して未知であることの不安から、関係性構築に消極的になるのではなく、未知であるという事実から向き合い、試行錯誤していく必要がある。その架け橋となるのが芸術であると考えている。

アートは誰に対しても開かれた存在であるべきであるという考えのもと、本企画では、聴覚障害者の方の音楽を聴取することの困難さに着目し、発露する音楽という観点から豊かさや共生に繋がる創造的音楽経験をもたらす事を志向した。「音楽を聴取することの困難さ」と述べた理由について、聴取する音楽を前提とした演奏会や公演が、日本で上演される機会の大多数を占めていることが大きな理由である。舞踏家・雫境編著「『LISTEN リッスン』の彼方に」(論創社)で述べられている、ろう文化における「オンガク」を手がかりに、音楽の拡張を目指す。